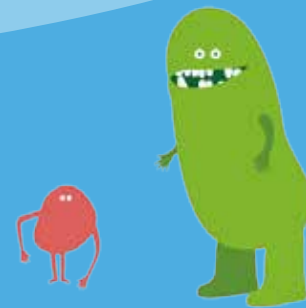


新中期経営計画に向けて

ナブテスコ株式会社

代表取締役社長 小谷 和朗

2016年12月1日



第3四半期連結業績概況

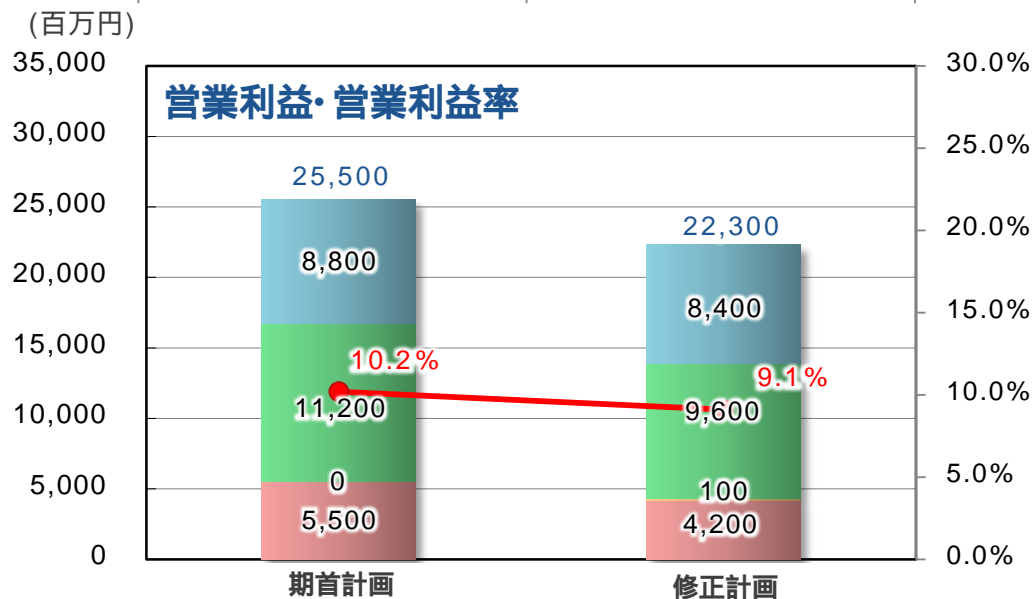
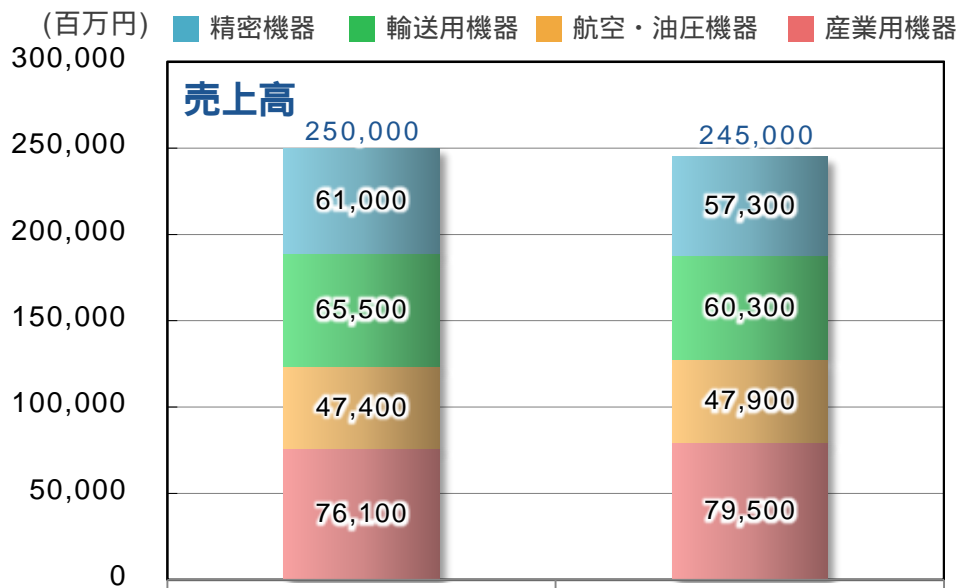
海運・造船市況の悪化等を背景に当初計画を下方修正も配当予定額は維持。

(単位：百万円)	2016/12 第3四半期累計 実績	2016/12 通期 2/12公表計画	2016/12 通期 10/31修正計画	2015/12 第3四半期累計 実績(参考値)注1
売上高	176,246	250,000	245,000	170,668
営業利益	16,804	25,500	22,300	16,405
(営業利益率)	9.5%	10.2%	9.1%	9.6%
営業外損益	-580	-	-	-
経常利益	16,224	27,000	21,900	17,066
特別損益	1,821	-	-	-
当期純利益*	12,453	18,900	16,000	11,684
一株当たり純利益	100.82	153.04	129.54	-
一株当たり配当額		50円(予)	50円(予)	
配当性向		32.7%(予)	38.6%(予)	

注1 2015/12 第3四半期(参考値)については、2016/12第3四半期実績との比較を行うために諸々の前提に基づき計算をした数値であり、会計上監査を受けた数値ではないためあくまで参考としてご覧ください。

*当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別見直し変更



精密減速機：
ロボット向けは堅調も
新製品拡販遅れ

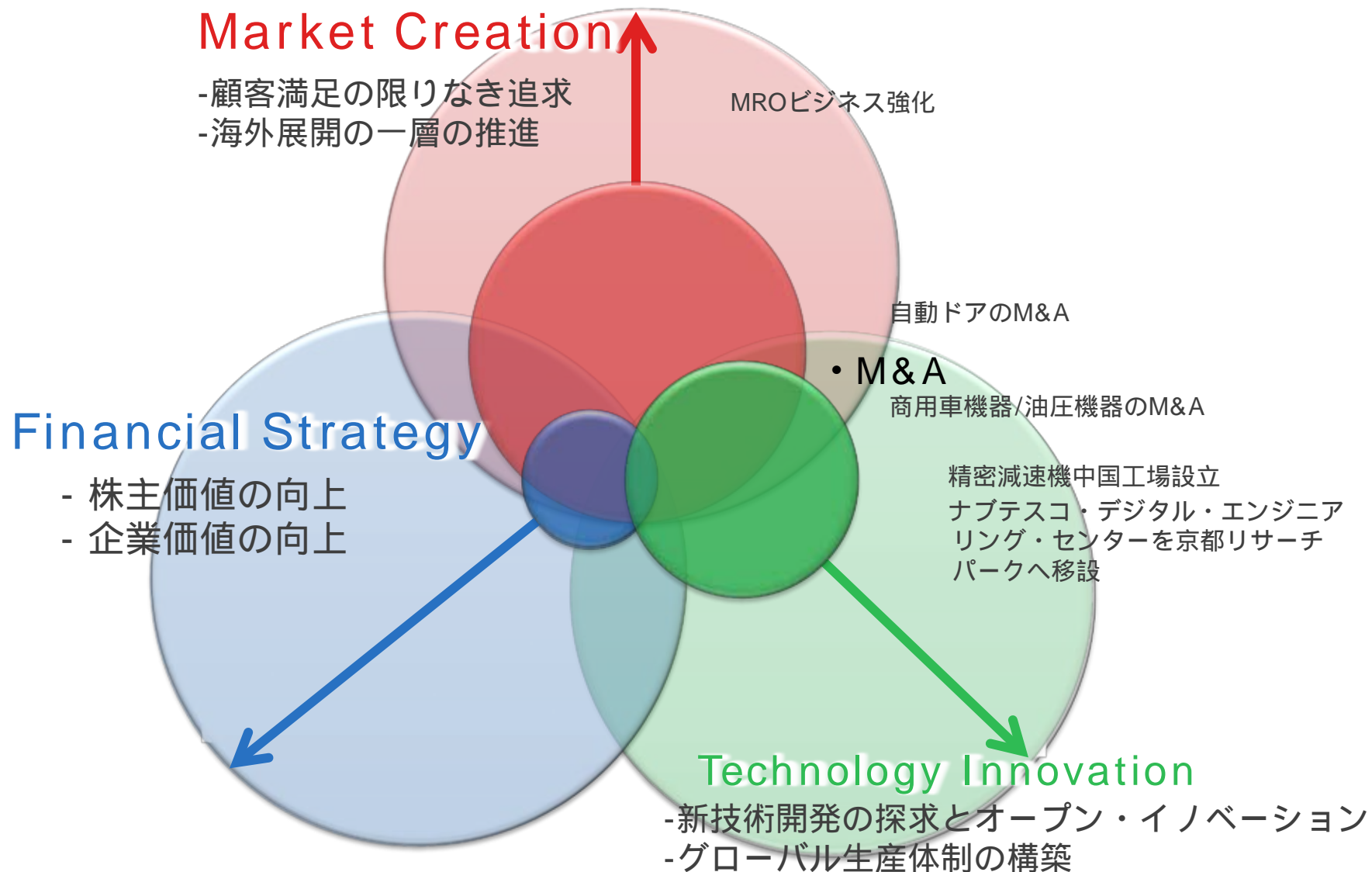
鉄道車両用機器：中国案件の遅れ
船用機器：造船・海運市況の悪化

航空機器：為替影響
油圧機器：中国生産実需改善

自動ドア：
日本での連結子会社化効果
北米PMI進捗遅れ

中長期的な経営戦略(次期中期経営計画に向けて)

経営戦略に大きな変更はなく、2020年長期ビジョンに向けた4年間の中期経営計画を策定予定

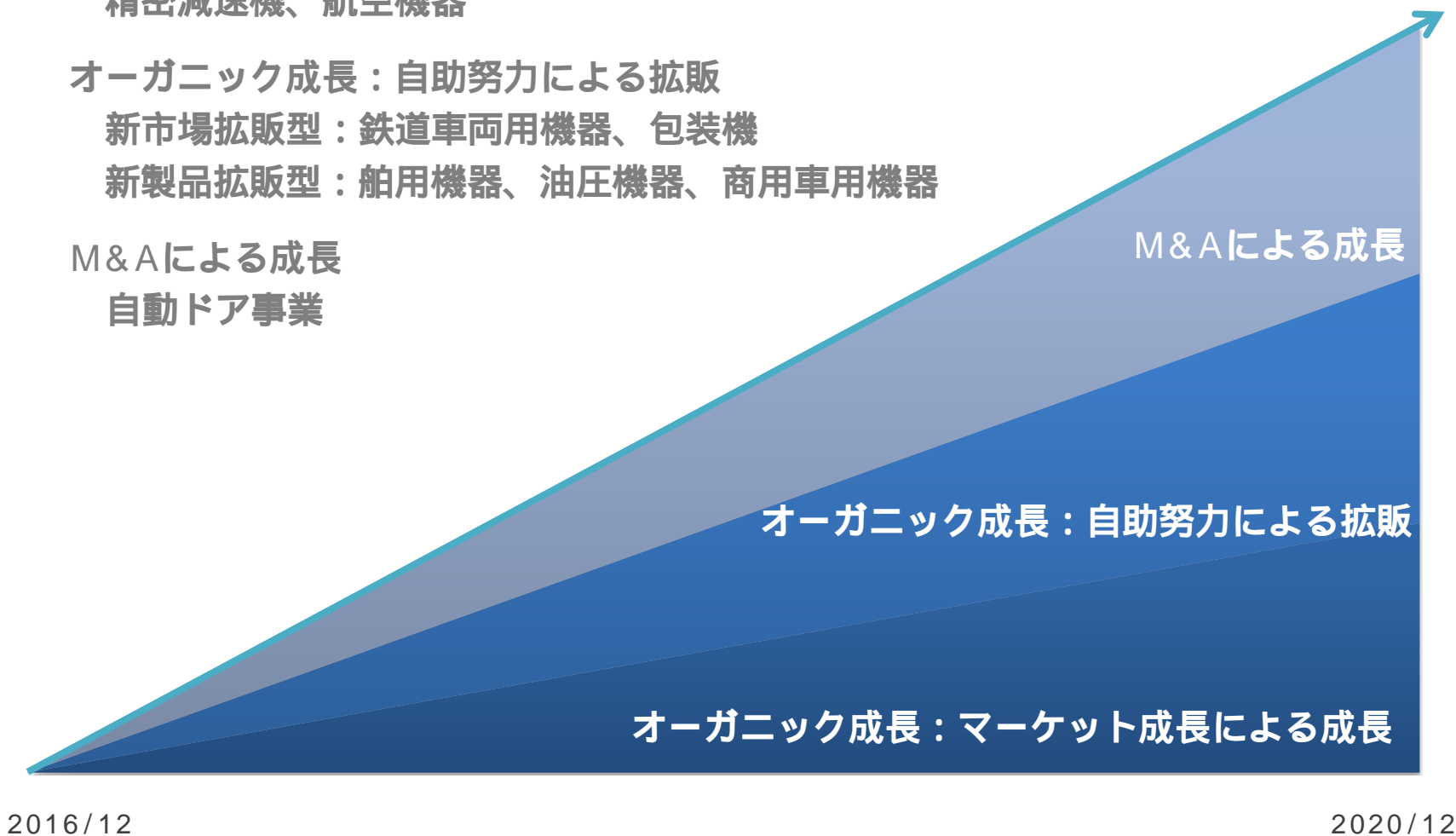


ビジネスごとに主に3つの成長戦略を検討

オーガニック成長：マーケット成長による成長
精密減速機、航空機器

オーガニック成長：自助努力による拡販
新市場拡販型：鉄道車両用機器、包装機
新製品拡販型：舶用機器、油圧機器、商用車用機器

M&Aによる成長
自動ドア事業



Topic1 IFRSの任意適用

2017年12月期から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用開始。

資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を向上 投資家やアナリストへの理解促進
グループ内での会計基準の統一を通じて経営管理の精度向上 業績管理の効率化、迅速な意思決定

【開示スケジュール】

2017年2月

2016年12月期決算短信及び連結計算書類

2017年3月

2016年12月期有価証券報告書

日本基準

2017年4月

2017年12月期第1四半期決算短信

2017年5月

2017年12月期第1四半期報告書

IFRS

Topic2 報告セグメント変更

2017年12月期から報告セグメントを変更

事業間のシナジー効果をより促進する より効率的な事業運営を行う。

【現セグメント】

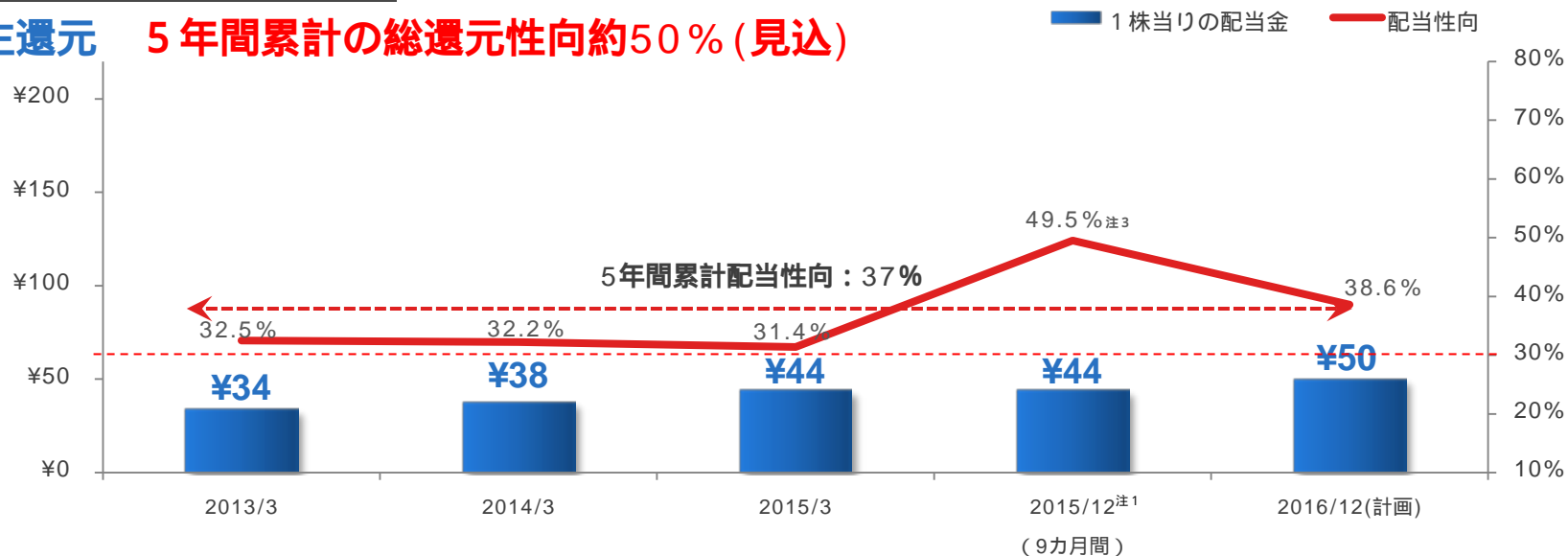
セグメント	主要事業
精密機器	精密減速機
	新エネルギー機器
輸送用機器	鉄道車両用機器
	商用車用機器
	舶用機器
航空・油圧機器	航空機器
	油圧機器
産業用機器	自動ドア
	包装機

【新セグメント】

セグメント	主要事業
コンポーネントソリューション	精密減速機
	新エネルギー機器
	油圧機器
トランスポートソリューション	鉄道車両用機器
	商用車用機器
	舶用機器
	航空機器
アクセシビリティソリューション	自動ドア
マニュファクチャリングソリューション(その他)	包装機

持続的・安定的な株主還元

株主還元 5年間累計の総還元性向約50% (見込)



- ・ 配当方針：配当性向30%以上 + 安定配当
- ・ (15/12)初の株主還元目的の自己株取得100億円実施

デット調達余力

< 15/12末B/S >

- 手元流動性：約350億円
- 自己資本：約1,400億円
- 自己資本比率：60.9%
- ・ **エクイティファイナンスは原則実施せず**

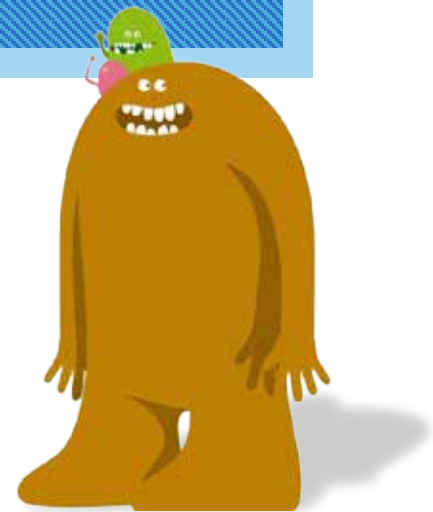
注1の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

注3 2015/12月期は決算期変更の経過期間となることから、従来3月決算であった会社は9ヵ月間(2015年4月1日～2015年12月31日)、従来より12月決算の会社は12ヵ月間(2015年1月1日～2015年12月31日)を連結対象期間とした決算となっており、連結配当性向が方針(30%-40%)を上回っております。

BS概況

(単位：百万円)	2015/12期末 2015年12月31日現在	2016/12期第3四半期 2016年9月30日現在	差異
資 産	233,381	241,712	8,331
(現 預 金 等)	35,068	39,677	4,609
(売 上 債 権)	59,750	55,739	-4,011
(棚 卸 資 産)	28,421	32,839	4,417
(有 形 固 定 資 産)	55,916	64,243	8,327
負 債	84,456	93,434	8,977
(有 利 子 負 債)	15,333	17,461	2,128
純 資 産	148,924	148,278	-645
(新 株 予 約 権)	379	466	-86
(少 数 株 主 持 分)	6,476	7,097	620
自 己 資 本	142,068	140,715	-1,353
自己資本比率：	60.9%	58.2%	-2.7pt

Appendix



参考値の定義

15年12月期に決算期変更を行ったため、今年度の数値と比較するために以下の定義で参考値を開示

2015年12月期第3四半期累計(参考値)

2015年12月期	2015年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当社および国内連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期		
海外連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期		

2015年12月期通期(参考値)

2015年12月期	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

	2015年12月期 実績(参考値注)	2016年12月期 期首計画 (2016年2月12日公表)	2016年12月期 修正計画 (2016年10月31日公表)	2017年3月期 中期計画最終年度
売上高	2,289億円	2,500億円	2,450億円	2,800億円±5%
営業利益	213億円	255億円	223億円	340億円
営業利益率	9.3%	10.2%	9.1%	12.0%
当期純利益*	147億円	189億円	160億円	240億円
EPS	118.41円	153.04円	129.54円	190円
ROA	6.2%	7.6%	6.3%	7.5%
ROE	10.1%	12.5%	10.8%	15.0%
配当額	44円	50円(予)	50円(予)	-
配当性向	-	32.7%(予)	38.6%(予)	30%以上

注「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期計画(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますので
ご留意下さい。

*当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

精密機器セグメント 主要製品

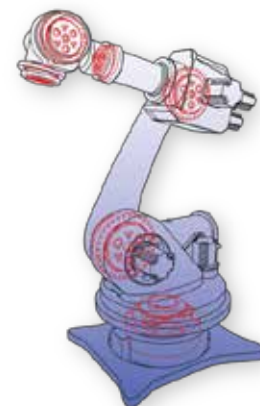
精密減速機

産業用ロボットの関節用途



工作機械 ATC駆動分野

(ATC = Automatic Tool Changer)

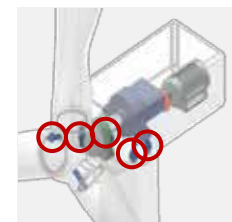


新エネルギー機器

太陽追尾駆動装置



風力発電用駆動装置



主要顧客 (敬称略)

精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

新エネルギー事業

太陽追尾装置：Cobra Thermosolar Plant (スペイン)

風力発電機用駆動装置：日立製作所、三菱重工業、他

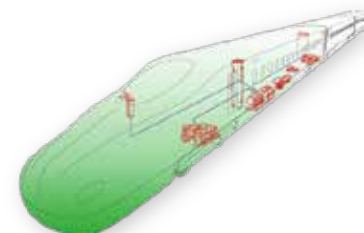
輸送用機器セグメント 主要製品

鉄道車両用機器

鉄道車両用ブレーキシステム



鉄道車両用ドア開閉装置



商用車用機器

商用車用ウェッジチャンバー

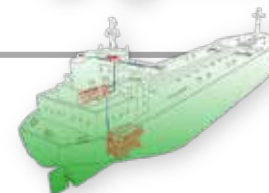


商用車用エアドライヤー



船用機器

船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日本車輛製造、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

商用車用機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラックス、日産自動車、富士重工業

船用機器

川崎重工業、三井造船、日立造船、三菱重工業、Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)
Samsung Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、MAN Diesel (デンマーク)

航空・油圧機器セグメント 主要製品

航空機器

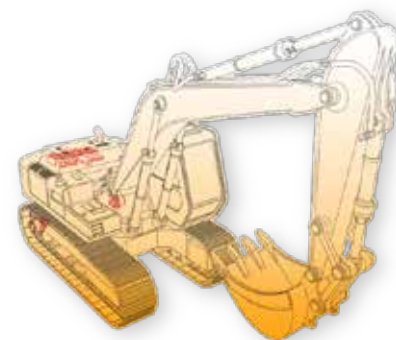
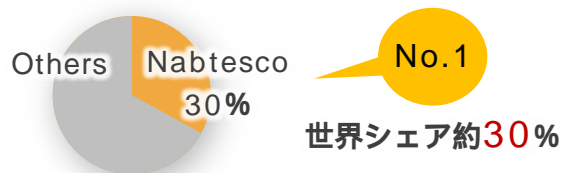
フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- | FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- | エンジン補機、電源システム等へも事業展開



油圧機器

パワーショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

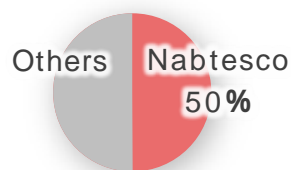
油圧機器

コマツ、住友建機、コベルコ建機、クボタ、日立建機、Sany、Zoomlion、XCMG、Liu Gong

産業用機器セグメント 主要製品

自動ドア

自動ドア開閉装置



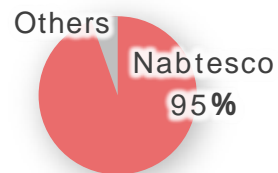
No.1

建物用自動ドア

国内シェア約50%
(世界トップクラス)



プラットホームスクリーンドア



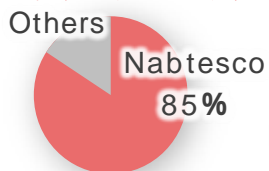
No.1

国内シェア約95%
(累計)



包装機

レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約85%



主要顧客 (敬称略)

自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

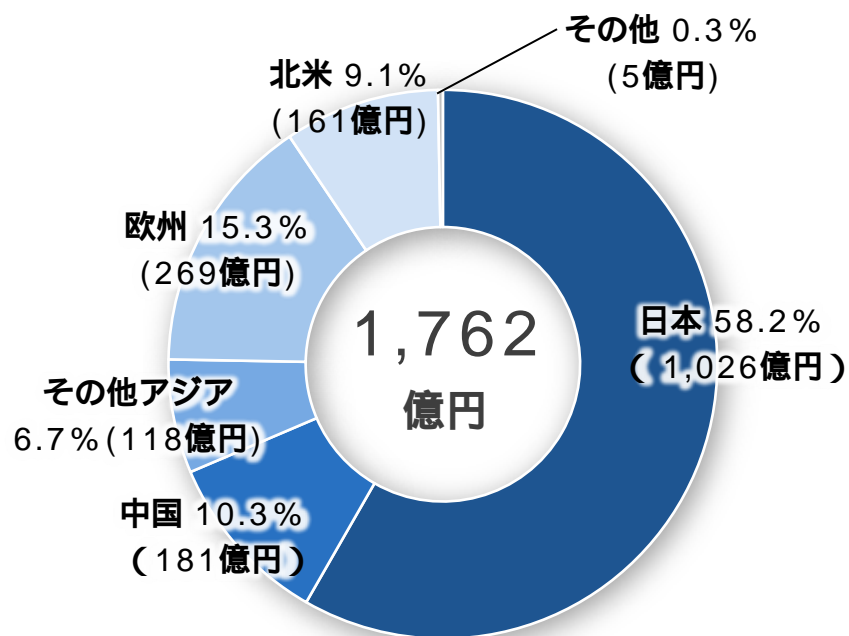
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

2016/12 第3四半期実績

(国内9ヵ月、海外9ヵ月)



海外売上高	735億円
海外売上高比率	41.8%

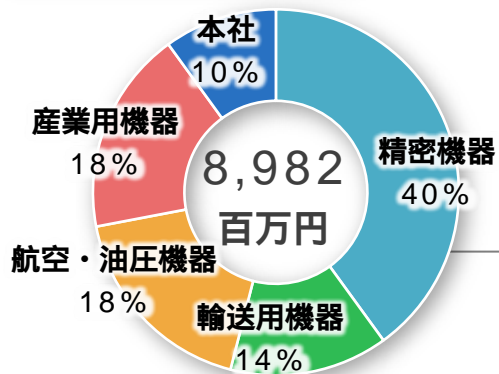
設備投資額・研究開発費・減価償却費

(単位：百万円)	2016/12 第3四半期 累計 実績	2016/12 通期 2/12公表計画	2016/12 通期 10/31修正計画	2015/12 通期 実績(参考値)*
設備投資額	10,482	20,000	17,500	10,291
研究開発費	5,483	8,200	8,200	7,265
減価償却費	5,508	8,600	6,700	7,399

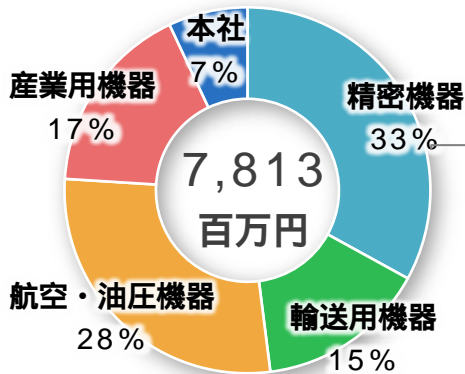
*2015/12 通期(参考値)については、2016/12期との比較を行うために諸々の前提に基づき計算をした数値であり、会計上監査を受けた数値ではないためあくまで参考としてご覧ください。

設備投資額内訳

セグメント別

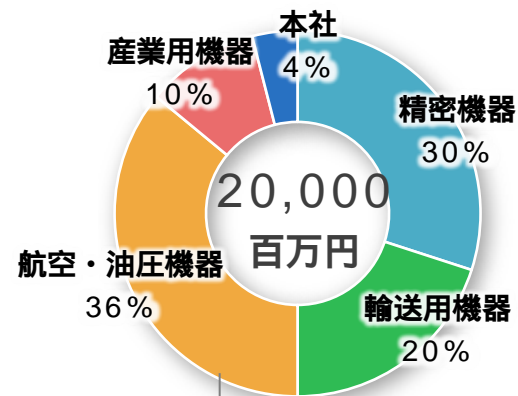


- 精密減速機
- 中国新工場建設
- 津工場増産対応



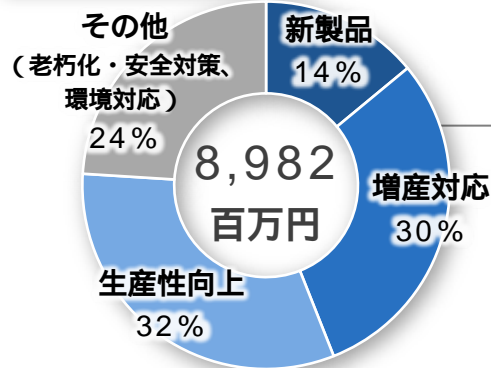
- 環境関連投資
- 研究開発関連投資

- 精密減速機
- 中国新工場設備導入

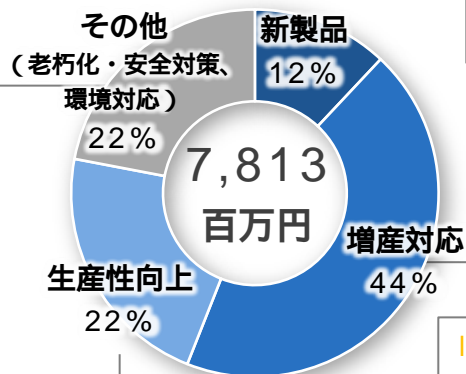


- 精密減速機
- 中国新工場設備導入等
- 航空機器
- 岐阜工場設備増強

目的別

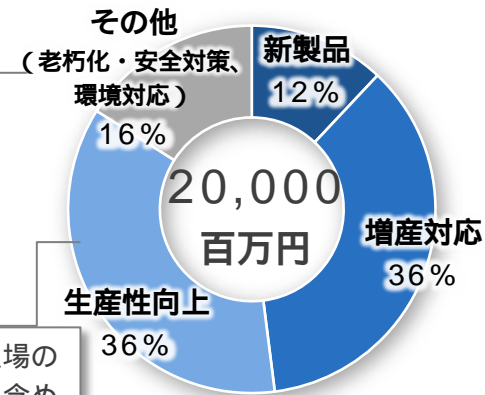


2015/12通期実績注1



2016/12上期実績

- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資



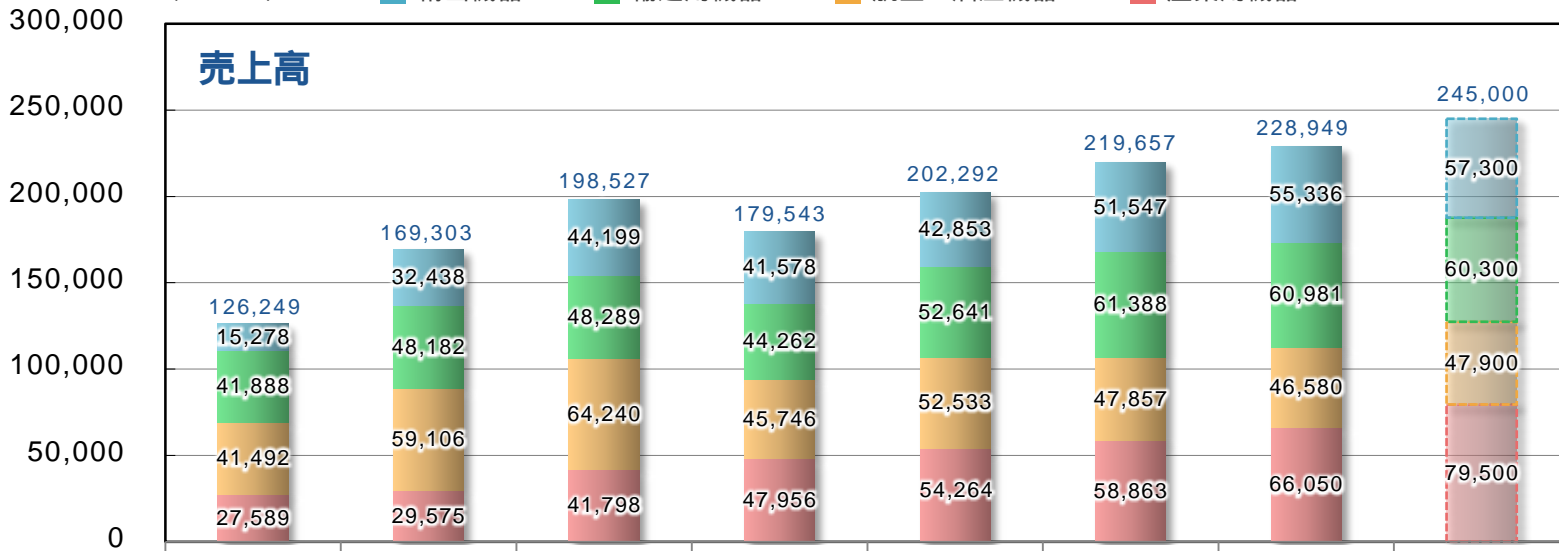
2016/12通期期首計画

注1の注記に関する事項は注記リストをご参照ください。

事業セグメント別 売上高・営業利益推移(12ヵ月)

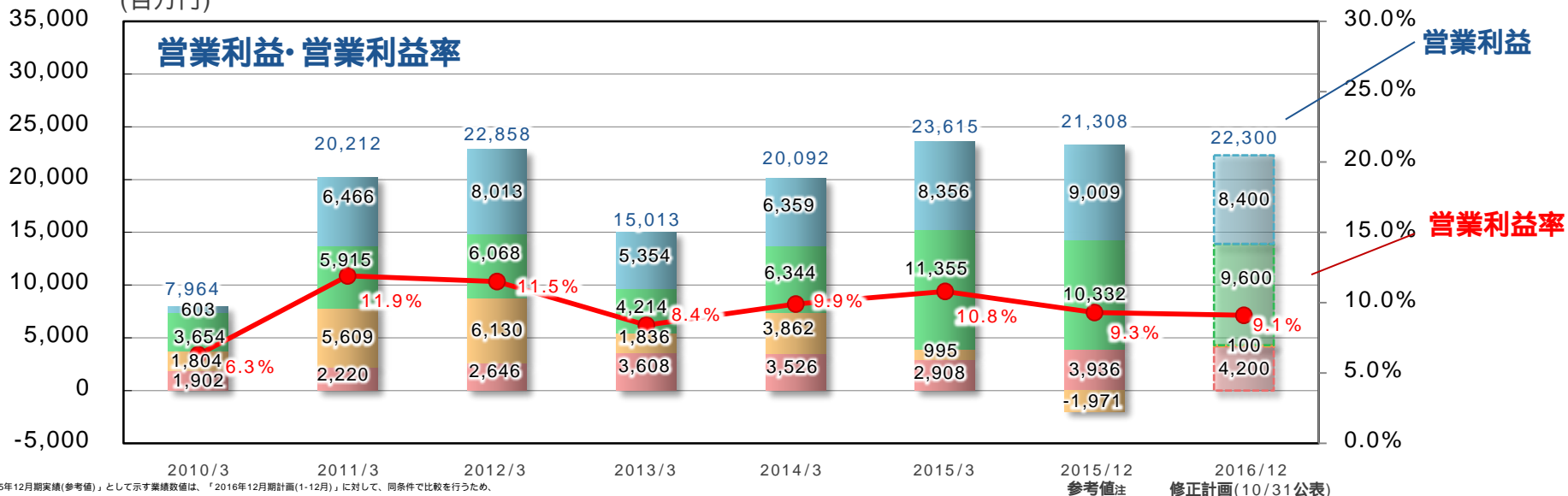
(百万円) 精密機器 輸送用機器 航空・油圧機器 産業用機器

売上高



(百万円)

営業利益・営業利益率



注「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期計画(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12ヵ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。

為替影響データ

項目	通貨	2016/12	2016/12	2016/12	2015/12 実績	2015/3
		3Q 実績	通期 2/12修正計画	通期 10/31修正計画	当社および国内連結子会社9 カ月 海外連結子会社12カ月	通期実績
為替レート	USD	108.83	115.00	100.00	121.03	106.46
	RMB	16.52	18.00	15.00	19.37	17.30
	EUR	121.12	130.00	110.00	133.69	140.35
	CHF	110.65	120.00	100.00	125.75	115.70
為替感応度 (為替が1円変動 したときの営業利 益に対する影響)	USD	39百万円	91百万円	66百万円	57百万円	91百万円
	RMB	軽微	55百万円	軽微	-32百万円	-4百万円
	EUR	軽微	軽微	軽微	軽微	軽微
	CHF	軽微	軽微	軽微	軽微	軽微

第3四半期セグメント別業績概況

(単位：百万円)

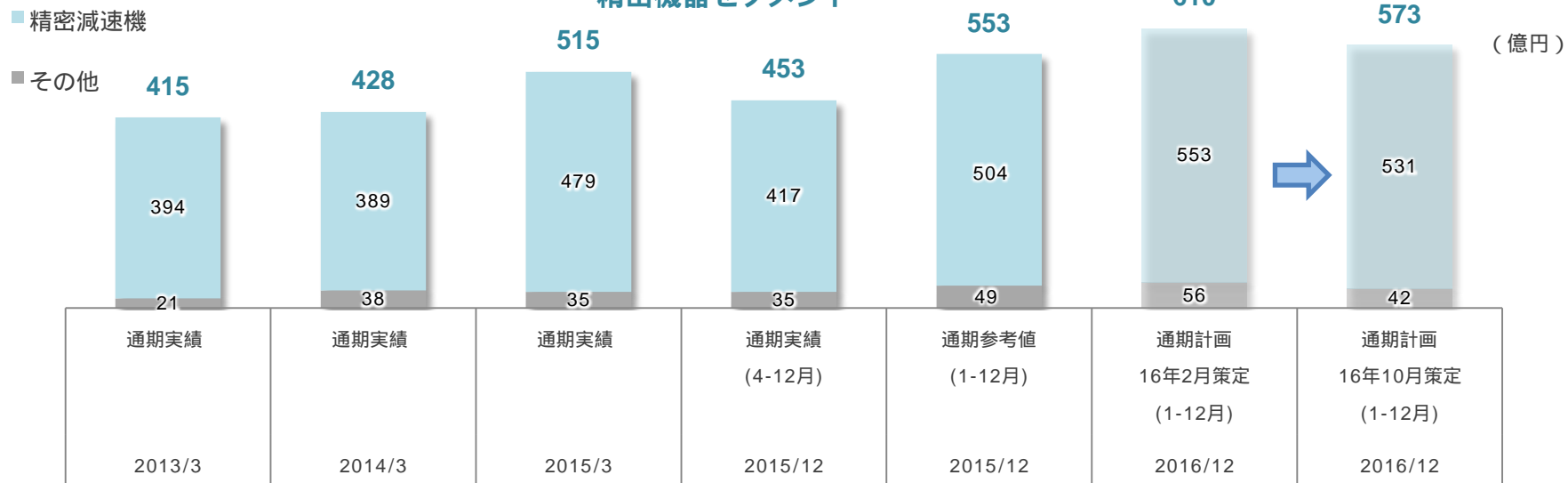
セグメント	項目	2016/12 第3四半期累計 実績	2016/12 通期 2/12公表計画	2016/12 通期 10/31修正計画	2015/12 第3四半期累計 参考値注1
精密機器	売上高	40,979	61,000	57,300	41,584
	営業利益 (営業利益率)	6,196 (15.1%)	8,800 (14.4%)	8,400 (14.7%)	6,996 (16.8%)
輸送用機器	売上高	43,790	65,500	60,300	45,970
	営業利益 (営業利益率)	7,392 (16.9%)	11,200 (17.1%)	9,600 (15.9%)	7,771 (16.9%)
航空・油圧 機器	売上高	34,808	47,400	47,900	35,195
	営業利益 (営業利益率)	-330 (-0.9%)	0 (0.0%)	100 (0.2%)	-1,234 (-3.5%)
産業用機器	売上高	56,668	76,100	79,500	47,916
	営業利益 (営業利益率)	3,546 (6.3%)	5,500 (7.2%)	4,200 (5.3%)	2,869 (6.0%)



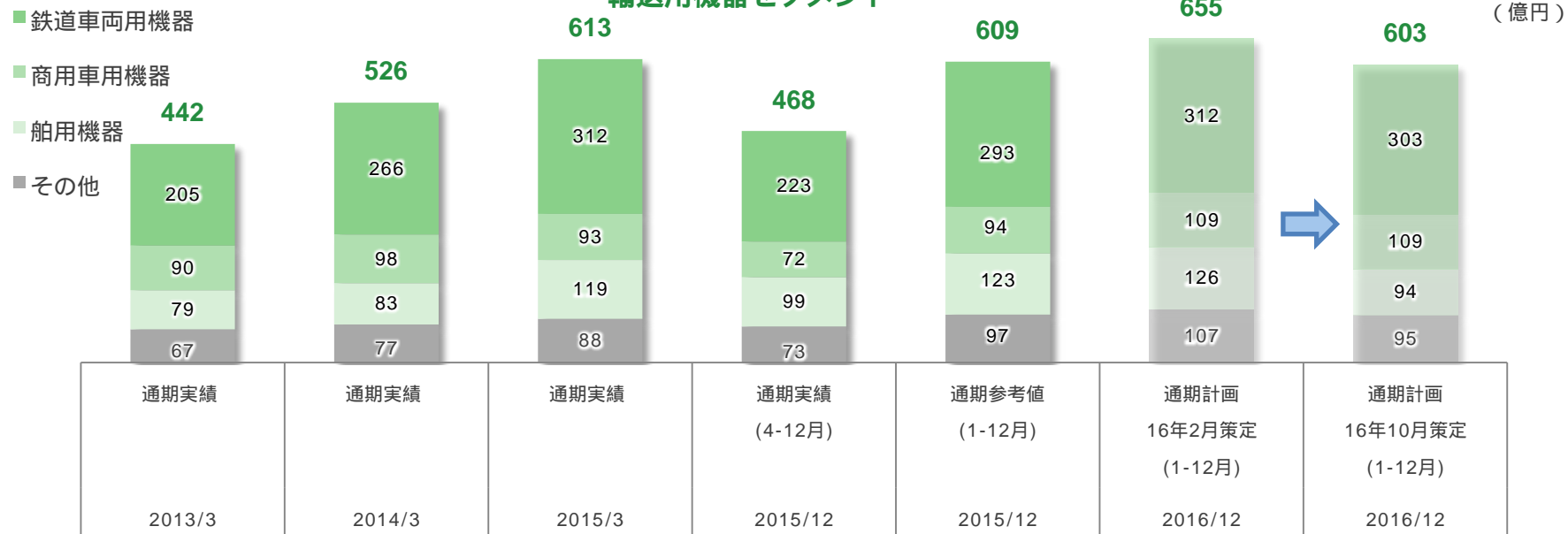
注1 2015/12 第3四半期(参考値)については、2016/12第3四半期実績との比較を行うために諸々の前提に基づき計算をした数値であり、会計上監査を受けた数値ではないためあくまで参考としてご覧ください。

事業別 売上高推移

精密機器セグメント

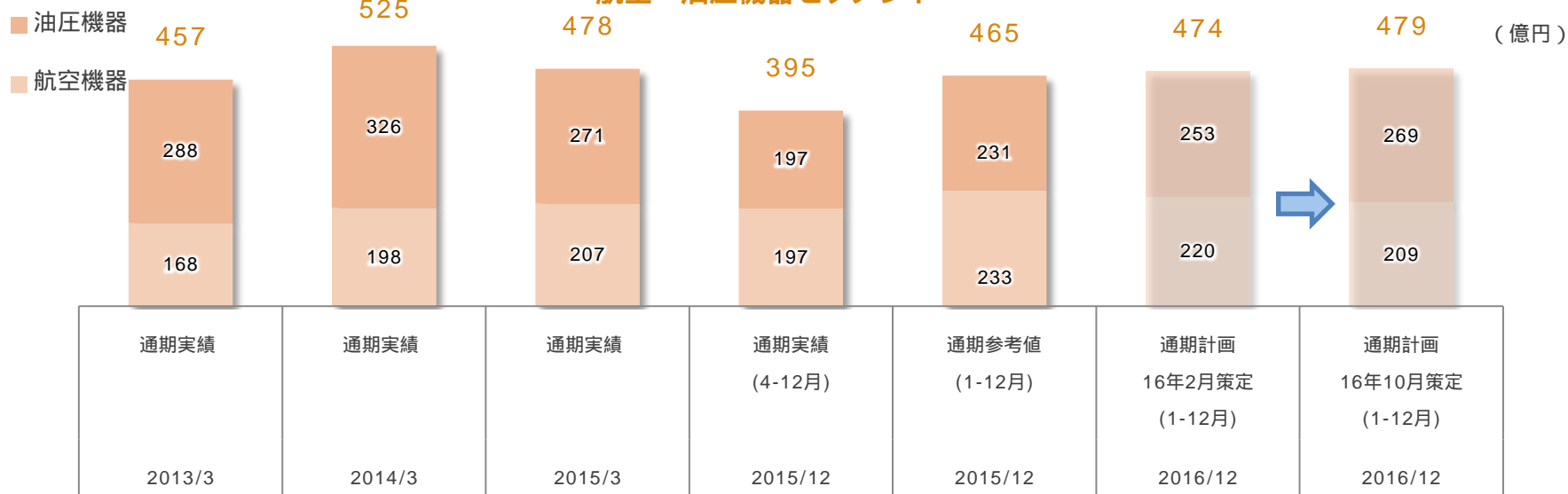


輸送用機器セグメント

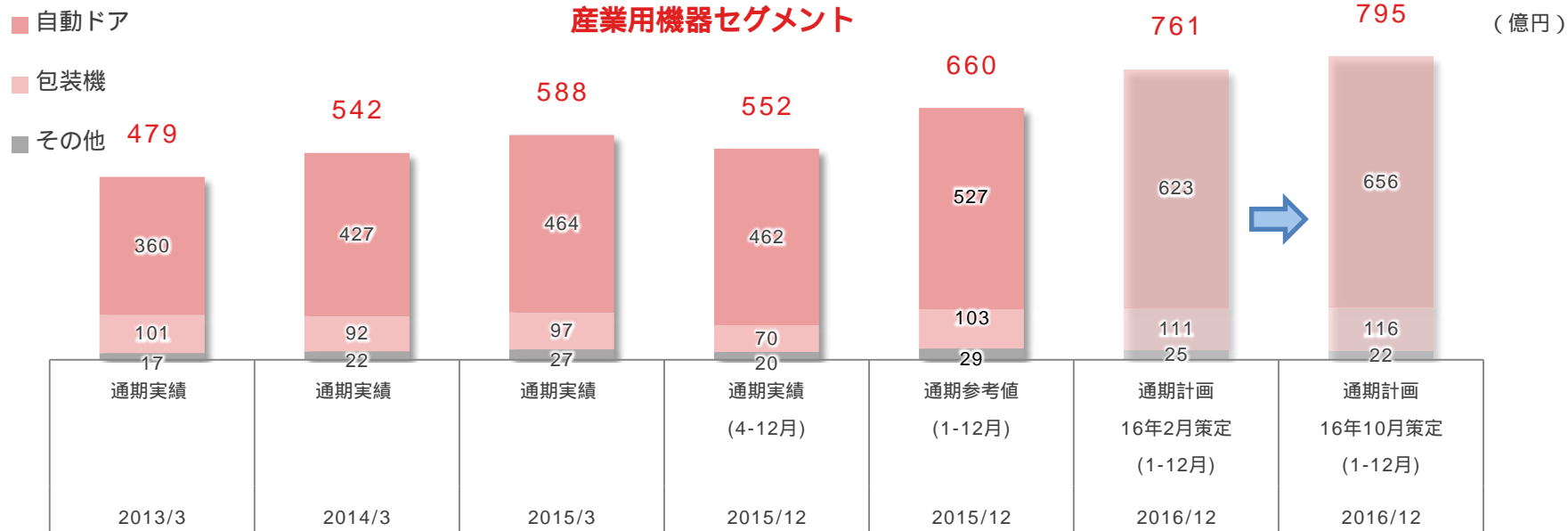


事業別 売上高推移

航空・油圧機器セグメント



産業用機器セグメント



うごかす、とめる。
Nabtesco

